

街なかの下水道 @こまえ

緑の丘児童遊園のひみつ 「雨水貯留池」編

うすいちりゅうち

平成27年10月に開園した「緑の丘児童遊園」に行ったことがありますか？実は公園の下には、みんなの生活を支えている下水道施設があります。なんの目的でどんな施設が作られているのか？緑の丘児童遊園のひみつをご紹介します。



緑の丘児童遊園
旧第七小学校の跡地につくられた公園。楽しい遊具や四季折々の植物が植えられ、元気に遊ぶこどもたちの姿を見ることができます。

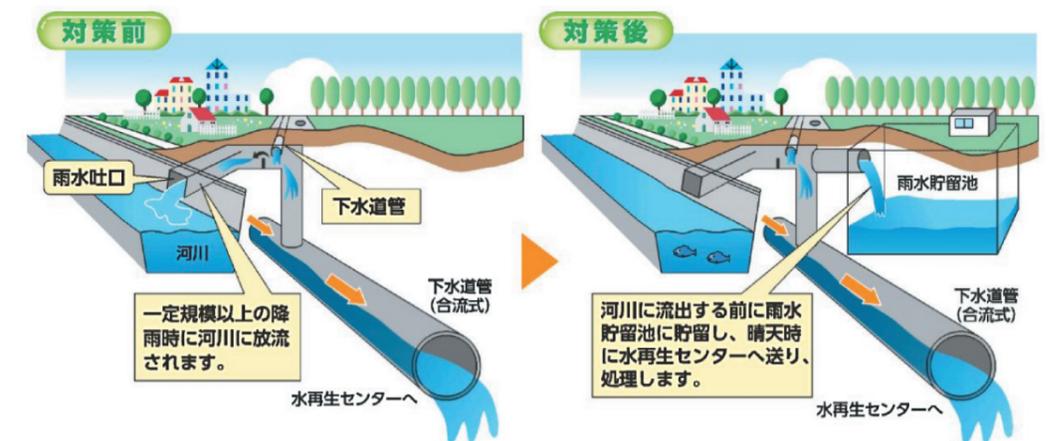
公園の下には何があるの？



雨水貯留池って??

狛江市を含めた近隣自治体の下水道は、2種類で整備されています。汚水と雨水をひとつの下水道管に流す「合流式」と汚水と雨水を別々に流す「分流式」です。「合流式」は、大雨のときには、一時的に野川に汚水まじりの雨水が放流される仕組みになっています。その回数を減らすために、東京都下水道局が旧第七小学校の跡地に雨水貯留池をつくりました。正式な名前は「野川下流部雨水貯留池」と言います。

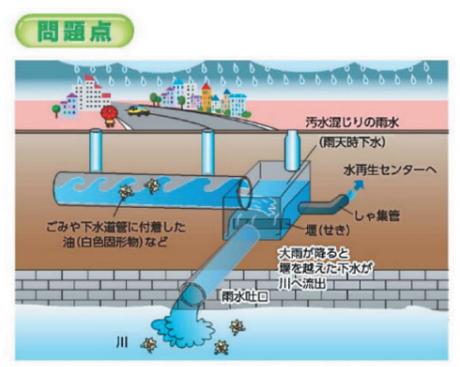
合流式下水道の改善



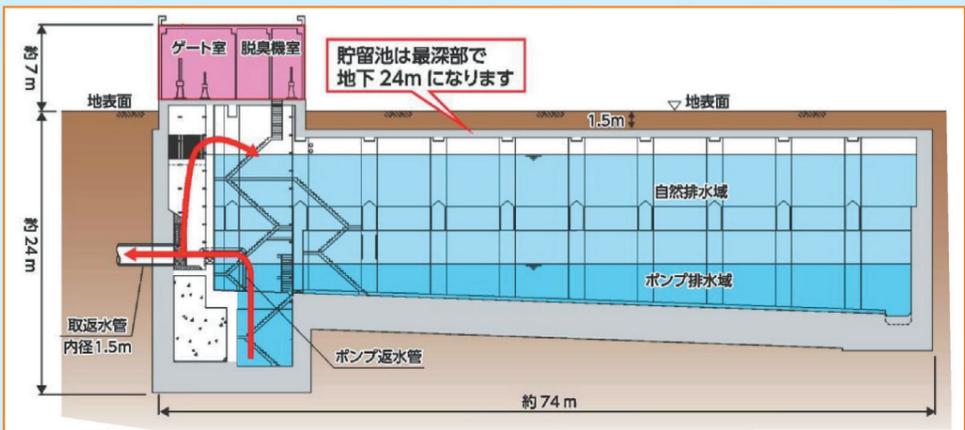
合流式下水道とその問題点



合流式下水道とは、雨水と汚水を同じ下水道管で排水する方式の下水道のことです。1本の管で済むため、建設費が安く、維持管理がしやすいのが、特徴です。



大雨の時には、雨水だけでなく汚水などの一部が混合されたものが、河川等に放流されます。



貯留池の面積は、約2,700㎡、深さは一番深いところで24mあります。貯留量は、20,000㎡あり、たくさんの雨水を溜めておくことができます。これは25mプール約70杯分に相当する量です。

東京都が管理しているんだよ

